

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	笑うた		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		~ 2026年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		~ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ことば音楽療法を主とした、言語に特化し、療育面も手厚く支援しているので、言語・身体機能・社会性等の成長が期待できる。	ことば音楽療法の個別レッスンは利用者全体が必ず受けられるように送迎・人員面で配慮している。職員全体で療育を行うのに必要な研修等も行うことで、自由活動や集団活動の中で、子どもの持つ力を引き出せる声掛け・接し方も大切にしている。	ことば音楽療法士同士でレッスン内容の検討、フィードバックを通して療育の質の向上を目指し、自由活動や集団活動は、子ども一人一人ができることに着目し、より幅広い療育プログラムを実施できるように図っていく。
2	個別療育と集団療育を毎日行うことで、一人一人の発達段階を全職員が共有し、個々に応じた支援プログラムを提供できる。	ことば音楽療法の個別レッスンと集団活動は必ず毎日行い、曜日ごとにプログラムを決めるのではなく、利用者全体を見て療育に適したプログラムを職員全体で相談の上、決定している。また、ミーティング等で子どもの様子・変化等は小さなことでも情報共有している。	集団活動の内容の幅を広げるとともに、療育的などの面で良いのかの根拠も検討する。全職員の支援方法の引き出しも増やすための研修や勉強会等も実施していく。
3	土曜日に親が子を連れて見学できる個別レッスンや家族も参加できる季節のイベントや集団レッスンなど支援の内容が保護者目線で視覚化できている。	どのような療育内容が事業所内で行われているか、という不安を解消するため、保護者が見学できる個別レッスンや家族参加のイベントを導入している。また、その際に保護者の方との支援に関する相談やお話の聞き取りもできており、支援の改善などにも反映できるようにしている。	土曜日の個別レッスンの予約枠を拡充し、多くの保護者様に療育を見学してもらえる機会をつくる。また、支援内容や当日の様子をSNSや写真等を使い、個人情報保護に気を付けつつ、視覚的に伝えられる手段を検討・実施していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域活動や地域の子供たちとの交流する機会がない	平日は、保育園や幼稚園からの送迎・人員確保の面から課外活動を行うのが難しい状況である。また、土曜日は保護者見学ありの個別レッスンを行っているため、大きなイベントを設定した日以外は課外活動などで地域を交流する機会を作れていない。	今後、事業所のイベント等で地域交流ができる手段がないか、検討していく。長期休み等で、状況を見て、公園や散歩など可能な場合は実施していくことも検討する。
2	親だけで参加できる勉強会や研修ができていない	ペアレント・トレーニング等を企画しているが、日々の業務に追われ、十分な準備時間や研修を職員全体で取れていない。	職員の仕事を軽減するように業務効率の改善を行っていき、職員が十分な準備時間の確保や研修への参加ができる環境を整える。来年度は、実施できるようにしていく。
3	休みの日に昼食提供ができない	調理師等の資格者がおらず、食品衛生面より安全性を考慮して、軽食のみの提供としている。昼食の代替措置として、お弁当を保護者に作ってもらったり、お弁当を外注している。	現状、保健所の助言等もあり、軽食のみの提供を継続していく。昼食については、食品衛生面での安全性の話も保護者の方へ丁寧に実施し、ご理解いただけるように努める。